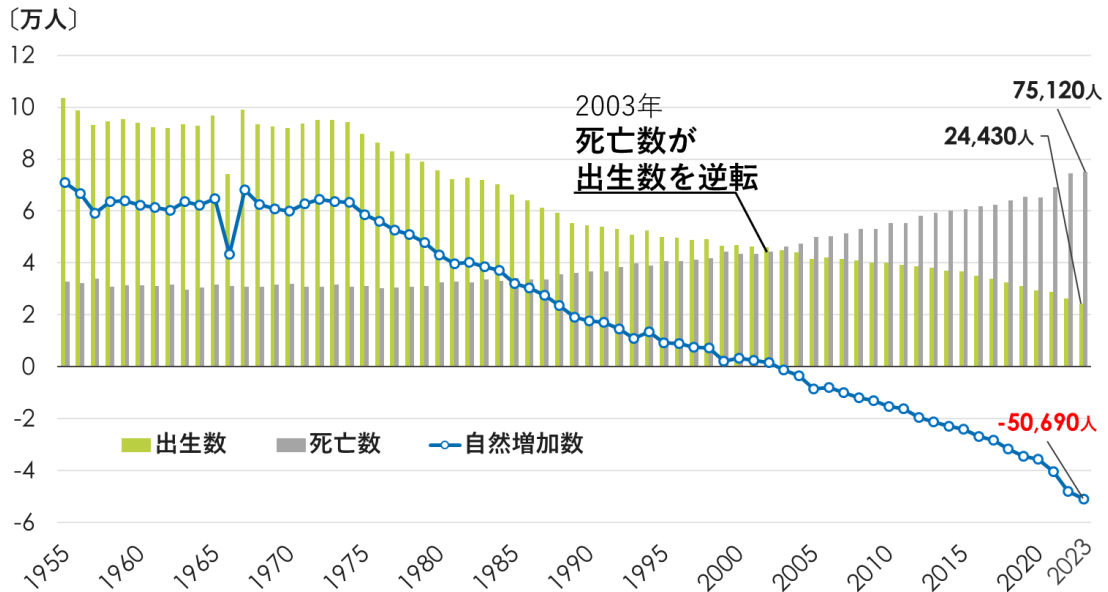


## 2 自然増減

### (1) 出生数・死亡数

自然増減については、2002（平成14）年までは死亡数が出生数を下回っていたため「自然増」の状態が続いていたが、2003（平成15）年以降は、死亡数が出生数を上回り、「自然減」に転じている。

出生数・死亡数・自然増加数の推移（北海道）

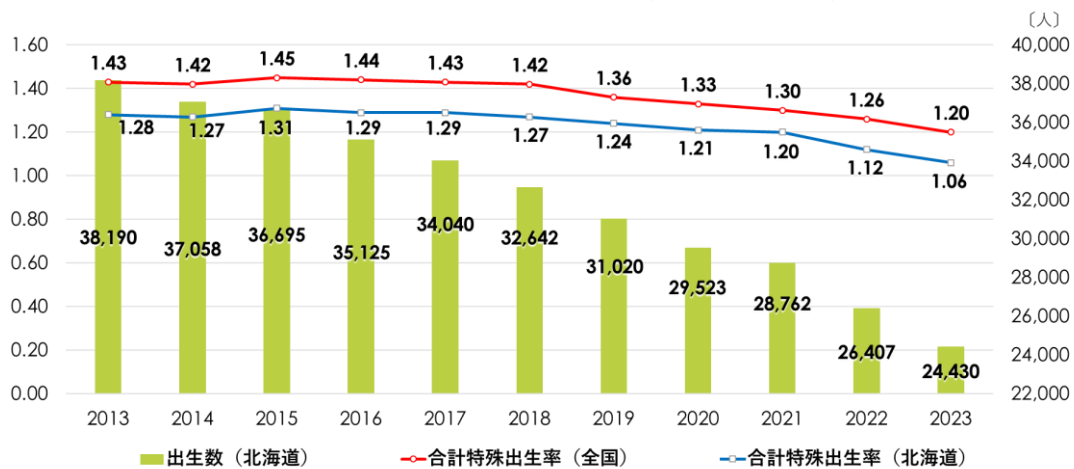


厚生労働省「人口動態統計」（日本人のみ）

### (2) 合計特殊出生率

本道の合計特殊出生率※1は全国平均より低く推移しており、2023（令和5）年では、東京都に次いで全国で2番目に低い状況となっている。

出生数・合計特殊出生率の推移（全国・北海道）



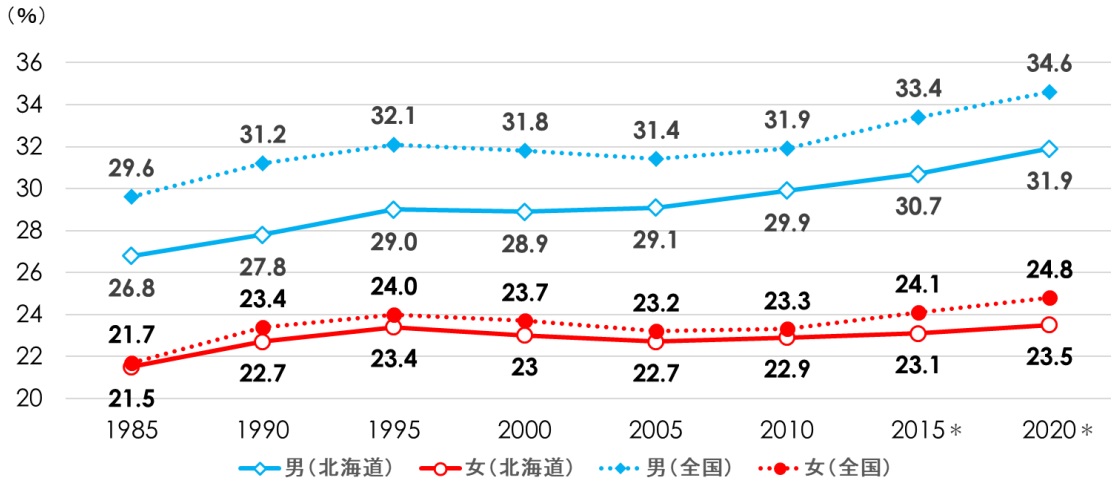
厚生労働省「人口動態統計」（日本人のみ）

※1 合計特殊出生率：その年次の15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に子どもを生むと仮定したときの子どもの数に相当する。

### (3) 未婚率・平均初婚年齢

本道の未婚率（15歳以上に占める未婚者の割合）は、全国平均と比べるとやや低く、2020（令和2）年では男性で31.9%、女性で23.5%となっており、近年、男性は微増傾向、女性はほぼ横ばいとなっている。

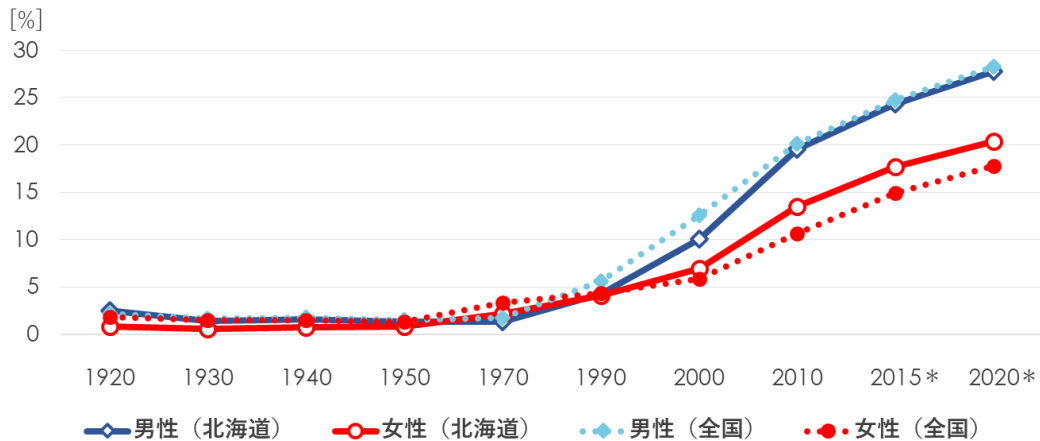
未婚率の推移（全国・北海道）



総務省「国勢調査」\* 不詳補完値に基づく。

50歳時の未婚割合は、男女ともに上昇傾向となっており、北海道では、2000（平成12）年に比べると、2020（令和2）年の男性で17.7ポイント、女性で13.4ポイント上昇している。

50歳時の未婚割合の推移（全国・北海道）



		1920年	1940年	1970年	1990年	2000年	2010年*	2020年*	(%)
男性	全国	2.2	1.7	1.7	5.6	12.6	20.1	28.3	
	北海道	2.5	1.5	1.3	4.3	10.1	19.5	27.8	
女性	全国	1.8	1.5	3.3	4.3	5.8	10.6	17.8	
	北海道	0.8	0.8	2.2	4.1	7.0	13.5	20.4	

国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」国立社会保障・人口問題研究所の算定による。  
45～49歳と50～54歳未婚率（配偶関係不詳を除く人口を分母とする）の平均値。全国は沖縄県を含む。\*不詳補完値に基づく。

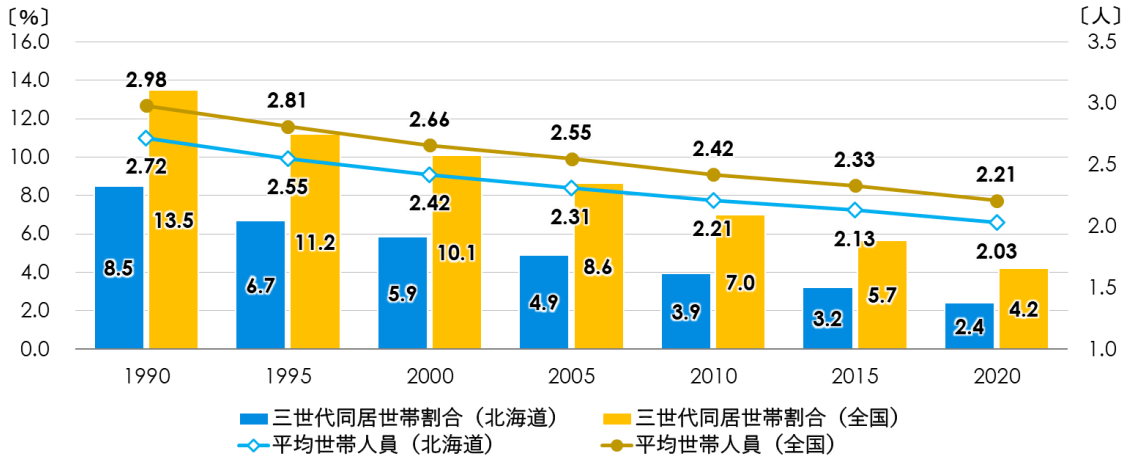


#### (4) 核家族化

全国的に三世代が同居している世帯の割合及び平均世帯人数ともに減少傾向にある。

北海道においては、三世代同居世帯割合が2020（令和2）年で2.4%と、全国の4.2%に比べ1.8ポイント、平均世帯人員も全国の2.21人に対し2.03人と、0.18人下回っており、全国よりも核家族化が進行している状況にある。

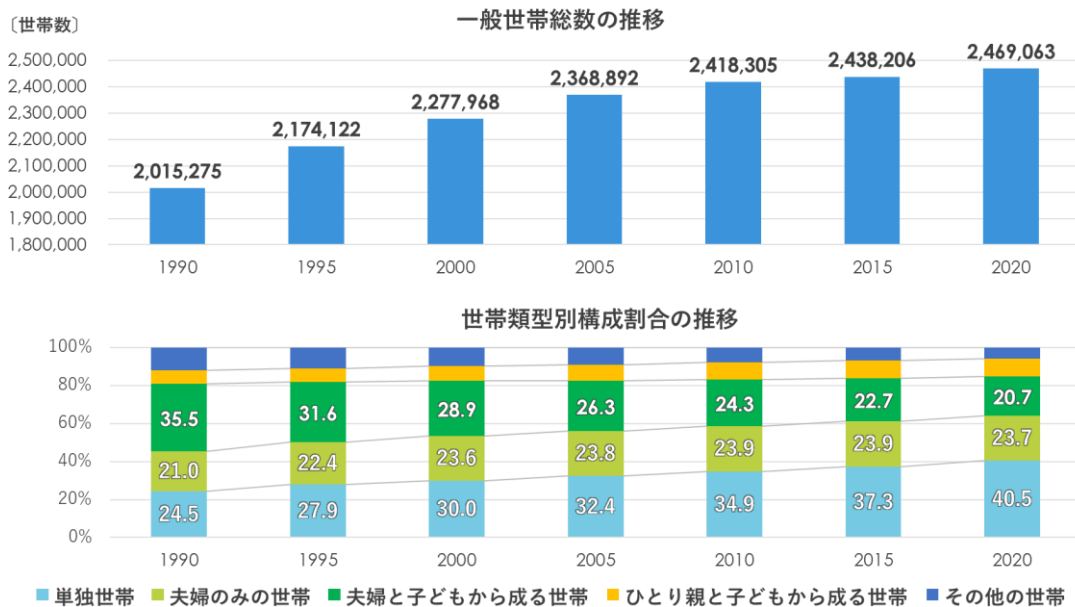
核家族化等の状況（全国・北海道）



総務省「国勢調査」

また、一般世帯総数は年々増加傾向にあり、1990（平成2）年と比較すると、2020（令和2）年で約45万世帯増加の247万世帯となっており、その構成割合では、単独世帯が大幅に増加し、夫婦と子どもから成る世帯が大幅に減少している。

一般世帯数の状況（北海道）

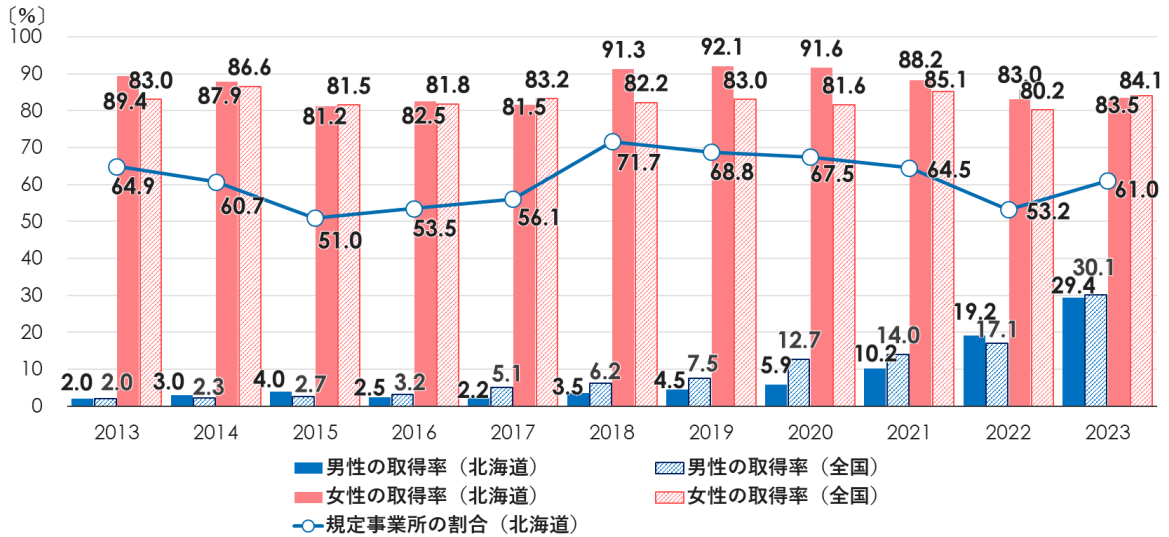


総務省「国勢調査」

### (5) 育児休業取得率

育児休業制度を規定している事業所の割合は、2023（令和5）年は前年から7.8ポイント増加し、本道の育児休業の取得率は、男女とも全国水準並みであり、近年、女性は83.5%と微減傾向にあるが、男性は増加傾向にあり29.4%となっている。

育児休業制度の規定及び取得状況（全国・北海道）

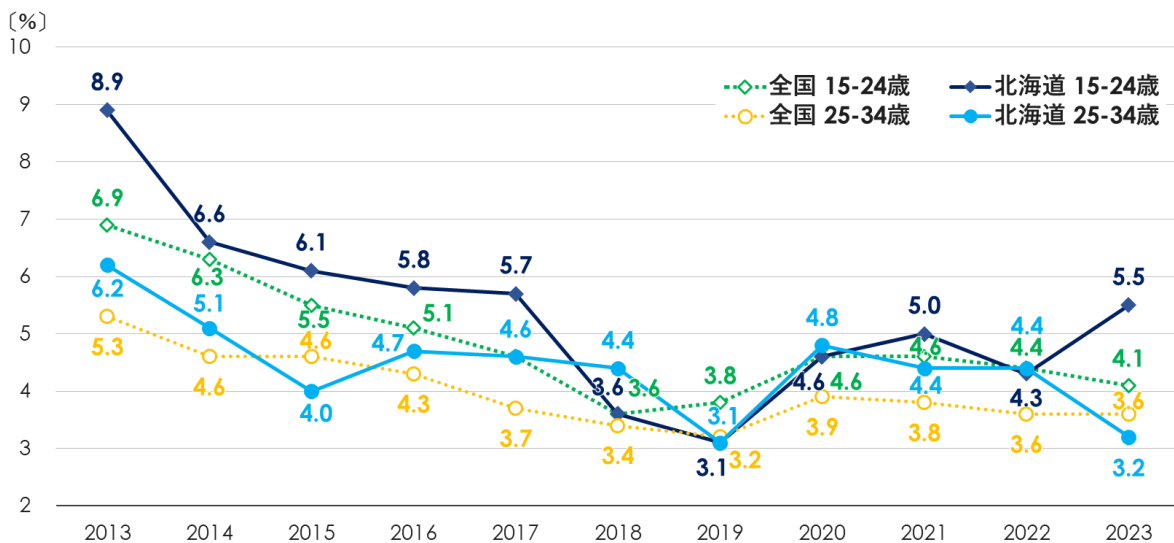


北海道経済部「就業環境実態調査」  
厚生労働省「雇用均等基本調査」

### (6) 若年者失業率

本道における若年者失業率は、これまでの傾向として全国よりも高い水準で推移している中、近年は横ばいに推移しており、2023（令和5）年は15～24歳が5.5%と全国より高い水準である一方、25～34歳は3.2%と低い水準となっている。

若年者失業率の推移（全国・北海道）



総務省「労働力調査」

## (7) 出生率の高い市町村の特徴

道内において合計特殊出生率の高い市町村について、様々な側面から分析を行ったところ、「第1次産業の就業者割合が高い」「20歳代の有配偶率が高い」などといった特徴があることがうかがえる。

合計特殊出生率の高い市町村(2018～2022年, 道内上位10町村)

	市町村名	合計特殊出生率 (2018～2022年)	人口 (人)	産業別就業者割合 (%)			有配偶率 (%) (20～29歳)	3世代 同居割合 (%)
				第1次産業	第2次産業	第3次産業		
	北海道	1.21	5,224,614	6.8	17.0	76.2	18.7	4.2
1	共和町	1.70	5,772	24.7	20.8	54.5	24.3	3.9
2	別海町	1.64	14,380	39.8	13.8	46.4	23.0	7.3
3	猿払村	1.62	2,611	40.2	19.3	40.5	25.1	3.6
4	佐呂間町	1.62	4,875	29.0	24.1	46.9	29.1	4.3
5	枝幸町	1.61	7,565	26.5	22.0	51.5	26.9	4.6
6	標津町	1.57	5,023	31.7	16.2	52.2	22.3	4.7
7	浜中町	1.54	5,507	51.5	16.9	31.7	24.2	8.8
8	更別村	1.53	3,080	42.6	4.9	52.5	32.1	6.3
9	八雲町	1.52	15,826	19.8	22.2	58.0	27.6	4.0
10	真狩村	1.52	2,045	41.2	9.5	49.2	28.3	6.3

合計特殊出生率：厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計(2018～2022年)」(日本人のみ)  
 人口・産業別就業者割合・有配偶率・3世代同居割合：総務省「国勢調査(2020年)」